

県政だより

あきた 新時代

10
2003
月号

平成15年10月1日発行(第97号)
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課
〒010-8570
秋田市山王四丁目1番1号
☎018(860)1073
FAX 018(860)1072
sinjidai@pref.akita.jp

海を越えた強い絆

~ミネソタ州との交流拡大をめざして~
みんな集まれっ!こどもエコクラブ



子育てサポーター勉強中

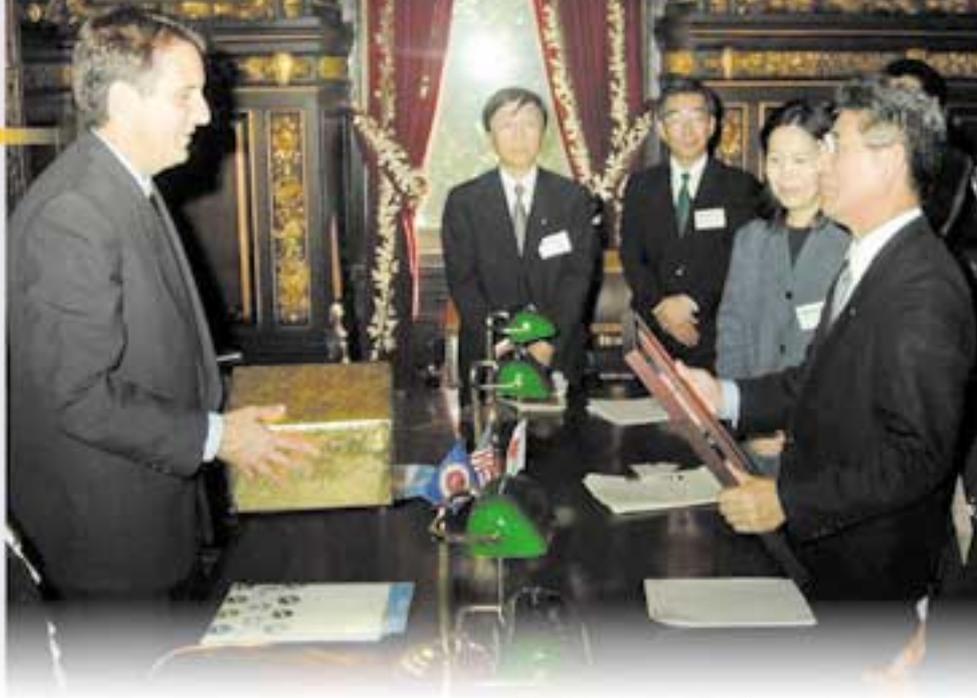
大雄村のたいゆう保育園で行なわれた子育てサポーター養成講習会の保育実習。

「子育てサポーター」は、保育の基本知識をもった保育ボランティアで、各地域で子育てをお手伝いしています。大雄会場での受講生は12人。保育士の指導を受けながら、園児たちに負けないくらいの元気な笑顔で頑張っていました。

寺田知事、鈴木県議会議長をはじめ、民間企業の代表者を含む59人が、8月19日から25日まで、アメリカ合衆国のミネソタ州を訪問しました。

秋田県とミネソタ州との本格的な交流が始まったのは、ミネソタ州立大学秋田校が開校した平成2年。この訪問の目的は、県が設置を進めている国際教養大学の開学を来年4月にひかえ、これまで築いてきた友好関係を一層発展させようというものです。

今回の訪問では、秋田県とミネソタ州の友好・交流に関する「宣言書」が交わされ、これまで以上に幅広い分野での交流について合意するなど、実りの多い訪問になりました。



宣言書を交換する寺田知事とポーレンティ知事

海を越えた強い絆

ミネソタ州との交流拡大をめざして

8月20日は「秋田県の日」

訪問の初日となった8月20日は、寺田知事とミネソタ州のティム・ポーレンティ知事が、秋田県とミネソタ州との交流拡大の方向などについて話し合いました。



寺田知事、鈴木議長とポーレンティ知事との会談の様子

寺田知事は、「これまでの教育・学術分野に加えて医療や産業など、さまざまな分野で交流を積極的に推進していきたい」と、交流拡大にける秋田県の熱意を伝えました。

これに対してポー

レンティ知事は、「各分野での交流について大いに協力・支援していく。本日の訪問に敬意を表して、2003年8月20日をミネソタ州における『秋田県の日』にする」と述べ、両者で今後の友好と交流拡大に向けた「宣言書」を取り交わしました。

寺田知事は、「ミネソタ州から今日を『秋田県の日』としていただいたことは、大変光栄なことで感謝している。ミネソタ州はとても美しいところだが、私たちも秋田県を世界に誇れる水と緑が豊かな県にしようと頑張っている。ポーレンティ知事にもぜひ秋田を訪れてほしい」と話すなど、終始友好的な雰囲気のなかで会談が行われました。

大学間の連携が一層強固に

同じく20日、寺田知事は、ミネソタ州立大学機構を訪れ、ジェームズ・マコーミック総長と会談しました。

北アメリカ中西部、カナダとの国境に位置し、五大湖の一つスペリオル湖が隣接。

人口は約492万人(秋田の約4倍)、面積は22.5万km²(秋田の約20倍)、州都はセントポール市。

北米一の長さを誇るミシシッピ河の源流。四季は比較的はっきりし、夏と冬の寒暖差が大きい。人気ドラマ「大草原の小さな家」の舞台になっており、全米で「最も住みやすい州」に5年連続で選ばれています。

農業生産高は全米6位、農産物の輸出高は全米7位を誇ります。

医療や観光などのサービス業、コンピューターや医療機器などのハイテク産業が盛んです。

ミネアポリスを中心に劇場が多く、野球、フットボール、バスケットボールなどのプロチームを有するなど、芸術とスポーツも盛んです。



ここでは、来年4月に開学が予定されている国際教養大学と州立メトロポリタン大学及びウイノナ大学との間で「学術交流に関する協定」が締結されました。



協定書に調印する寺田知事とウイノナ大学学長

この協定では、大学間の学生や教員の交流、全国的にもあまり例のない海外の大学とのデュアル・ディグリー制度()などが定められ、今後、国際教養大学における「グローバル・ビジネス」及び「グローバル・スタディズ」の各専門課程を通じて、具体的な連携を進めることで合意しました。

寺田知事が、ここに至るまでの苦労話を披露し、この間大学機構から示された熱意に対して感謝すると、マコーミック総長からは、秋田県との連携がいよいよ具体的な形になったことは非常に感慨深いと感想が述べられ、記念品の交換も行われるなど、調印式は和やかな雰囲気の中で進められました。

() デュアル・ディグリー制度...日本と海外の大学の両方の卒業資格を取得できる制度。

ミネソタ州の議会も歓迎

翌21日は、鈴木議長や寺田知事がミネソタ州議会を訪れ、アン・H・レスト上院院内総務補佐(副議長に相当) スティーブ・スヴィガム下院議長とそれぞれ会談しました。スヴィガム議長からは、歴史的価値の高い州議事堂の建物を案内していただくなど、温かい歓迎を受けました。

会談では、鈴木議長が「昨日取り交わした宣言書の趣旨を踏まえ、議会としてもミネソタ州との交流拡大を積極的に推進していきたい」と述べたのに対して、

州議会からは、「上・下両院ともあらゆる協力を惜しまない」と心強い言葉をいただくなど、今後の交流拡大を確認し合いました。



スヴィガム議長から議事堂の説明を受ける鈴木議長

メイヨークリニックを訪問

県立脳血管研究センターや県内の医療機関の医師などで構成された医療班は、ミネソタ州ロチェスター市にある「メイヨークリニック」を訪問しました。

ロチェスター市は人口7.7万人のうち3分の1がメイヨークリニックに従事しており、最良の医療を求めて世界各地から年間120万人を超える人がこのクリニックを訪れるなど、まさに医療のまちです。

メイヨークリニックは、「患者第一」で病気の治療を行っているだけでなく、医療に関する教育や研究面でも世界の先端をいっていますが、今回は、メイヨークリニックとの幅広い人材交流について話し合いました。

また、県立脳血管研究センターの安井信之所長が、メイヨークリニックの脳外科の医療スタッフを前に脳動脈瘤のうどうみゃくのうに関する研究について講演をしました。参加した



メイヨークリニックで講演する安井所長

脳外科医からはさまざまな意見や提言がなされるなど、会場は熱気に包まれていました。

アメリカでの事業拡大へ第一歩

流通や製造業などの関係者で構成された商工班は、州都セントポール市とミネアポリス市の商工会議所やミネソタ州貿易局などを訪問しました。

ミネソタ州は、コンピュータのIBMやノースウエスト航空などの世界的な企業をはじめ、ハイテク産業、サービス産業の集積が進み、交通網も整備されているなど、アメリカで事業の拡大を考えている企業にとっては非常に魅力的な地域です。

今回は、アメリカでの市場開拓や新しい経済交流の可能性について話し合ったほか、参加企業の担当者が、自社製品や技術のプレゼンテーションを行ったり、直接商談を行うなど、精力的な活動を展開しました。



自社製品を説明する県内企業の担当者

また、先端企業から講師を招いたセミナーや現地企業の視察も行い、経営に対する考え方や成功事例を学ぶなど、各参加企業はアメリカでの事業展開に向けて大きな刺激を受けていました。

ミネソタとの交流はこれからが本番

さらに今回の訪問では、県立大学の研究者がミネソタ大学との間で最新の研究や共同研究の進め方などについて意見を交換しました。

また、農業分野でも、ミネソタ州農業局と食品の安全性に関する農業施策についての意見交換や県の試験研究機関とミネソタ大学との研究交流などについて協議したほか、都市計画分野では、市街地の再開発など、まちづくりの取り組みを中心に関係機関と意見交換を行うなど、さまざまな分野で成果を得ることができました。

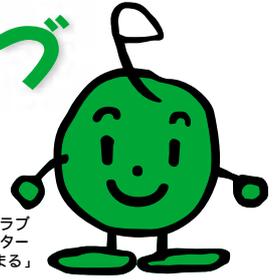
国際交流は、国レベルでの交流に加えて、ローカル・ツウ・ローカル(地域主導)の交流拡大が求められる時代になっています。

その意味でも今回の訪問は、秋田における本格的な国際化時代の到来を予感させる貴重な機会になりました。

お問い合わせ 県国際交流課 TEL018(860)1219

みんな集まれっ! こどもエコクラブ

環境について考え、行動しよう。



こどもエコクラブ
イメージキャラクター
「エコまる」

小・中学生の友達や仲間が集まって、地球環境のことを考えたり、さまざまな環境活動を行っている「こどもエコクラブ」。今回は、その活動内容などをご紹介します。

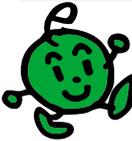
Q 「こどもエコクラブ」って何?



●小・中学生なら誰でも参加できる環境活動を行うクラブだよ。県内では、76クラブ、1,864人(9月1日現在)の子どもたちが活動しているんだ。

●クラブの会員になると、環境活動に役立つヒントがいっぱいの「会員手帳」や「メンバーズバッジ」がもらえるし、全国のクラブの活動など、いろいろな情報が載っている「こどもエコクラブニュース」も送られてくるよ。

Q 「こどもエコクラブ」ではどんなことをするの?



●「生き物調査」や「町のエコチェック」「リサイクル活動」など、環境について知りたいこと、興味のあることは、なんでもできるよ。

●全国のクラブのみんなと手紙やビデオレターを交換したり、お互いにクラブを訪問したりもできるんだ。

●毎年夏に開かれる「北東北子ども環境サミット」では、青森県や岩手県のクラブのみんなと交流できるよ。来年は、秋田県で開かれるから楽しみだね。



平成15年「北東北子ども環境サミット2003インいわて」
たくさんの仲間と交流し、友達がたくさんできました。

Q どうやったら会員になれるの?



●すでに登録されているクラブの会員になることもできるし、仲間を集めて新しいクラブをつくることもできるんだ。(入会金や会費、新しいクラブの登録費用は無料だよ)

【こどもエコクラブのつくりかた】

仲間を集めよう

数人から30人ぐらいまでの小・中学生の仲間を集めよう。

サポーターを決めよう

クラブ活動を支えてくれる大人のサポーターを決めよう。

登録しよう

市役所や役場にあるこどもエコクラブ事務局(環境担当課)に届けば、クラブとして登録されるよ。

●「こどもエコクラブ」の活動期間は、毎年4月から1年間だけど、登録はいつでもできるんだ。次の年に続けて活動する場合も、また登録すれば大丈夫だよ。

大人のみなさんへ

豊かな自然環境を守り育てていくためには、私たち大人が環境と共生していく意識をもち、毎日の生活の中で環境にやさしい暮らし方を実践していくことはもとより、次代を担う子どもたちが、将来にわたって環境を大切にすることを重要とすることが重要です。

県では、国や市町村と一緒に、「こどもエコクラブ」を通じて、子どもたちの地域における環境の学習や活動を支援しています。

皆さんも、まわりの子どもたちの活動をお手伝いしてみませんか。

お問い合わせ 県環境あきたアクションチーム TEL018(860)571 ホームページ <http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/>



情報公開課にお寄せいただいた「おたより」の中から、心なごむ一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などを紹介します。

生活習慣病は、あらためて恐ろしい病気とわかりました。日ごろからの生活を見直し、「カッコイイママ」として頑張りたいです。

(21歳・女性・八郎潟町)

「健康づくりチャンピオン」の認定は、心身の健全な生活を保証されること間違いなしの感じです。挑戦してみようと思いました。

(62歳・女性・秋田市)

自殺者がこれほど多いとは思わなかったのが驚きました。自殺にはそれぞれ理由があるので、相談窓口はとても重要だと思います。

(19歳・男性・秋田市)

日本人には日本人に合った食事があつまず。心を込め、手間ひまかけた食事で、

心のゆとを取り戻したいと思います。

(43歳・女性・秋田市)

「スローフード」のページを見て、昔食べた「じゅんさい」などを思い出しました。子どもにスローフードの味を伝えていけるよう挑戦していきたいです。

(19歳・女性・河辺町)

長期に安定して働ける場所があれば、もう1人、2人子どもを持ちたいと思っています。雇用の確保に努力してください。

(29歳・女性・鹿角市)

「春夏秋冬こぼれ話」を読んで、男鹿の「えご」が白っぽいことをはじめで知りました。こんなに手間をかけて作られているとは驚きです。

(26歳・女性・協和町)

秋田の シリーズ Part.7

食

みんなで秋田の食を守り、

育てよう!!

地元の食材を子どもたちに
学校給食で広がる地産地消

子どもたちに食の大切さ、楽しさについて関心をもってもらい、農業や自分たちが生まれ育った地域を愛する心を育ててもらおうと、身近で採れる新鮮な農産物を学校給食に取り入れる運動が、県内各地で広がっています。

今回は、地元の農産物を使った特色ある学校給食を提供している取り組みを紹介します。

「地産地消スクールランチメニュー」 ～能代山本地区～

能代山本地区では、地域の伝統食や農産物を学校給食に取り入れる「地産地消スクールランチメニュー」に取り組んでいます。学校の栄養士が、JA秋田やまもとの「グランママシスターズ」の協力により、地域の伝統食を参考にして、「みそつけたんぼ」「じゅんさい汁」「かぼちゃ白玉」など11種類の地産メニューを考案し、地域の小・中学校に提供しています。



地域の食材が満載の地産地消
スクールランチメニュー

「まるごと大内産給食」 ～大内町～

大内町では、昨年からは、大内産の「あきたこまち」や町内農家の朝採り野菜など、地元で採れる食材を学校給食に取り入れています。また、

「まるごと大内産給食」として食材の全てを地元で採れたものでそろえ、子どもたちと生産者のみなさんが一緒に給食を食べるなど、交流を深めています。

今年からは、農業をもっと理解してもらおうと、子どもたちが給食用の野菜づくりにも取り組んでいます。



大内産の給食に大満足の子もたち

秋田が生んだ「白神パン」を給食に

白神山地からの贈り物「白神こだま酵母」を利用して作られた県産小麦100%の「白神パン」が、全県の小・中学校の学校給食で食べられていることをご存じですか。

「ふっくら、しっとりしておいしい」と子どもたちには大好評で、今後、学校給食に提供する回数を増やす予定です。

お問い合わせ 県流通経済課 TEL018(860)1764 ホームページ <http://www.e-komachi.jp/>

メルマガ 『あきた。』 に登録を!

県は、7月から県政のタイムリーな情報や秋田の旬な話題をいち早くお届けする、メルマガ『あきた。』を発行しています。知事が日ごろ感じたことなどをお届けする「寺田知事のそのまんま通信」やイベント情報「今週の行ってみよう!」、県外に住む方からの秋田への熱い思いを伝える「秋田つながり」など、楽しいコーナーが盛りだくさんです。

県のホームページ「美の国あきたネット」から登録していただくと、毎月第2・第4金曜日に無料で配信されます。また、秋田ならではの商品が当たるプレゼントコーナーもありますので、ご意見、ご感想をお気軽にお寄せください。

お問い合わせ 県情報公開課 TEL018(860)075
E-mail mag@pref.akita.jp
登録先 <http://www.pref.akita.jp/> (メルマガのページからご登録ください)



ボランティア大集合! 「家族ふれあいサンサン祭り」 が開かれます

シンボルマーク



県内のボランティア団体・NPOと子どもたちが一堂に集まり交流を深める「家族ふれあいサンサン祭り」が開かれます。

日時 10月18日(土) 19日(日) 両日とも午前10時から

会場 遊学舎(秋田市上北手:秋田赤十字病院隣)

内容 スポーツ関係者による講演、各団体の交流発表会(中高生バンド、踊り、和太鼓など) スポーツ大会、各種ボランティア体験コーナー、親子健康体操、餅つき等

お問い合わせ 県民文化政策課 TEL018(860)1520

または実行委員会事務局 TEL018(839)8665

まんず見でけれ、
聴いでみれ!

秋田弁が満載の「秋田のことば」 CD-ROM版が完成!

「あたたかい、ちからづよい、たのしいことば」秋田弁をギュッと詰め込んだ「秋田のことば」CD-ROM版が完成しました。

秋田弁の特徴や言語地図、ことわざ、会話例などが音声や映像、写真でわかりやすく紹介され、生の秋田弁を味わうことができます。

秋田の人たちの息吹と知恵が詰まった秋田弁をCD-ROMで、見て、聴いてみませんか!



県内の書店で発売中
定価2,800円(税抜)

お問い合わせ 県教育庁文化財保護室 TEL018(860)5192

情報のひろば

募集

新しい男鹿水族館の職員募集

来年夏に開館予定の、新しい男鹿水族館の職員を募集しています。

職種 飼育、営業、調理、管理、施設
初任給 大卒15万円、短大・高専13万円
高卒12万5千円

募集期間 11/30(日)まで

*詳しくはお問い合わせください。

☎(株)男鹿水族館 TEL0185(22)6330

青年海外協力隊と シニア海外ボランティアの 秋期募集説明会

「海外青年協力隊」

10/18(土) ジョイナス(秋田市)

11/5(水) 県社会福祉会館(秋田市)

「シニア海外ボランティア」

「日系社会シニアボランティア」

10/18(土) ジョイナス(秋田市)

あなたも国際協力に参加してみませんか。

☎県国際交流課 TEL018(860)1219

県立技術専門校高卒コースの 生徒募集

県立技術専門校では、高卒コースの平成16年度生を募集します。

受付期間 10/31(金)~11/14(金)

選考日 11/21(金)

合格発表 12/2(火)

出願資格 高等学校を卒業した方(平成16年度卒業見込みの方を含む)

☎県労働政策課 TEL018(860)2322

または各県立技術専門校

催し

「女性のための交渉力を磨く セミナー」

働く女性や今後就業予定の女性を対象に、「役に立つ交渉のコツ」を身につけるセミナーを開催します。受講無料です。

日程 11/9(日) 横手市

11/16(日) 秋田市

いずれも9:30~16:00。託児あり。

会場 南部男女共同参画センター

中央男女共同参画センター

☎県男女共同参画課 TEL018(860)1556

ベンチャープラザ秋田2003

県内ベンチャー企業のプレゼンテーション、パソナグループ代表・南部靖之氏の講演会、県内企業開発製品の展示、交流会などを行います。ベンチャーや起業に関心のある方なら、どなたでも参加できます。

日時 10/22(水) 13:00~

会場 秋田キャッスルホテル

☎(財)あきた産業振興機構

TEL018(860)5605

NPOとの協働についての フォーラム

市民主体のまちづくりを目指す「NPO法人練馬まちづくりの会」から講師を迎え、行政とNPOの協働によるまちづくりについて、事例紹介とワークショップを行います。

日時 10/9(木) 13:30~16:00

会場 遊学舎(秋田市上北手)

☎・申込 県民文化政策課

TEL018(860)1520

農林水産業体験学習フォーラム inあきた

北海道・北東北3県の子どもたち・先生たちによる農林水産業体験学習の発表会や、パネル展示、本県出身で東京農工大名誉教授の遠藤章氏の講演会などを行います。

日時 11/2(日) 13:00~16:00

会場 「プラザ都」(能代市柳町9-23)

☎県農山村振興課 TEL018(860)1851

県立聾学校の「学校公開」を 行います

聾学校ってどんなところ?聾学校の生徒と交流してみたい!と思っている方は、ぜひおいでください。授業公開、手話や指文字の学習会、高等部交流講習会(ポストカードなどの製作活動など)を行います。

日時 10/24(金) 9:45~12:10

会場 県立聾学校(秋田市土崎港2丁目)

☎県立聾学校 TEL018(845)291

FAX018(845)6902

お知らせ

県企業局の所有地を売却します

次の企業局所有地を一般競争入札により売却します。入札参加を希望される方はお問い合わせください。

秋田市高陽青柳町203-2ほか1筆

宅地333.50㎡(一部道路敷)

予定価格22,462,000円

秋田市保戸野鉄砲町557

宅地230.10㎡

予定価格20,180,000円

参加申込期間 10/1(水)~10/22(水)

入札日時 10/28(火) 10:00~

☎県企業局企画業務課

TEL018(860)5033

10月はマイバックキャンペーン月間

マイバックキャンペーンは、買い物のときに、自分の買い物袋(マイバック)を持っていくことにより、レジ袋などのごみの減量や資源の節約に努める運動です。

地球環境にやさしい身近な取り組みとして、次のことにご協力ください。

マイバックを持参する

包装の少ない商品を選ぶ

エコマーク商品やリサイクル商品を選ぶ

☎県環境整備課 TEL018(860)1595

10月「土地月間」です

土地は、生活や生産のためになくてはならない貴重な資源です。県・市町村が定めた土地利用計画に従って、土地を適正かつ有効に活用しましょう。

県は、地価調査結果(7月1日現在の調査地点の価格)を、9月19日付けの県公報で公表しました。土地取引の指標としてご活用ください。県公報は、県政情報資料室(県庁第2庁舎)や県のホームページ「美の国あきたネット」(<http://www.pref.akita.jp/>)などでご覧になれます。

☎県建設管理課 TEL018(860)2424

10月は 「高齢者雇用促進月間」です

高齢化が進んでいく中で、活力ある社会であり続けるため、高齢者の働く機会を確保することが大変重要です。

働く意欲のある方が働き続けられるよう広く理解と協力を求めるため、高齢者雇用促進フォーラムを開催します。

日時 10/22(水) 13:30~

会場 ホテルメトロポリタン秋田

☎県雇用対策室 TEL018(860)2331

「中小企業倒産防止共済制度」を ご活用ください

一定の掛け金を積み立てておくと、取引先企業の倒産などによって売掛金などの回収が困難になった時に、無担保、無保証人、無利子で最高3,200万円まで貸付を受けることができる制度です。

詳しくはお問い合わせください。

☎・加入申込 最寄りの商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、金融機関へ。

☐ テレビ

こちらお茶の間情報局

ABS 毎週日曜日11:00~11:15
 10月5日 厳しい就職戦線
 12日 県議会だより(11:25まで)
 19日 知事とともに(11:25まで)
 ~クリーンな環境をめざして~
 26日 秋田スギの需要拡大を

秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00
 10月4日 特集 北海道・北東北知事サミット
 (土曜日13:45~14:10)
 6日 二湖二コ号で秋を満喫
 13日 ゆったりフェリー旅
 20日 伝統の技を受け継ぐ若手職人
 ~川連漆器~
 27日 秋の夜長をキャンドルで

あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45
 10月4日 きみまちの郷へ
 11日 白神の恵みで活性化
 18日 高校を「模擬会社」に
 25日 暮らしを支える計量器

📻 ラジオ

県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50
 モーニングスマイル
 エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55

あなたの声を県政に

県では、県民の皆さんから提言や要望などをお聴きするため、さまざまな窓口を設けています。お気軽にご利用ください。

知事面会日
 県政発展のための提言などを、県民の皆さんから知事が直接お聴きします。
 面会日 原則として毎月第1月曜日
 場所 知事室(県庁3階)
 申込方法 知事面会申込書に必要事項を記載し、前月15日までに情報公開課にお申し込みください。

知事への手紙
 切手不要の用紙を県庁、地方総合庁舎の県民ホール、市町村役場に置いてあります。任意の用紙でもかまいませんが、その場合は「知事への手紙」と明記してください。
<http://www.pref.akita.jp/tiji/tegami.html>
 電子メール秋田県への提言
 県のホームページ「美の国あきたネット」の「県政への提言」からお入りください。
<http://www.pref.akita.jp/soudan/teigen.html>

受付・お問い合わせ

県情報公開課 〒010-8570(住所不要)
 TEL018(860)1071,1076
 ファクス018(860)1072
 Eメール koho@pref.akita.jp



県政の苦情は
 県民行政相談室へ
 ~フリーダイヤルでお気軽に~

県政に対するあなた自身の利害にかかわる苦情を、県民行政相談員が公正中立の立場で調査します。フリーダイヤルで、お気軽にご相談ください。

相談日時 火・水・木・金の午前10時~午後4時(フリーダイヤルは平日の午前8時30分から午後5時15分までご利用できます)

受付場所 県民行政相談室(県庁1階)
 電話 フリーダイヤル 0120-229079
 (携帯電話からは018(860)1082, 1083をご利用ください)

ファクス 018(860)1072
 Eメール kujyou@pref.akita.jp

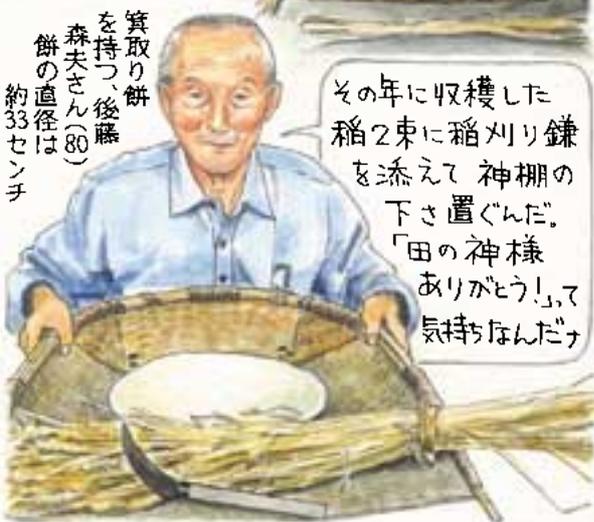
春夏秋冬
 こぼれ話

シリーズ55

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

収穫の秋、田の神様に感謝してお供えする箕取り餅。

古い農具などが並べられた土間では、昔ながらの餅つき体験ができる。ケヤキで作られたウスの内径は55センチ。餅をつく人の体力に応じて大小さまざまなキネも用意されている。



その年に収穫した
 稲2束に稲刈り鎌
 を添えて神棚の
 下さ置ぐんだ。
 「田の神様
 ありがとう！」と
 気持ちなんだ」

箕取り餅
 を持つ、後藤
 森夫さん(80)
 餅の直径は
 約33センチ

あたるは刈り上げの節句でな。その日は朝早くからその年に収穫したモチ米で餅をついて、箕と一緒に田の神様にお供えする。俺の家で家族全員が神棚の下で正座して、田の神様にお礼を申し上げたもんだ」

この箕取り餅は翌日お雑煮にして食べる。「特別の日だもの。飼っている鶏をつぶしてタシを取り、ネギやゴボウをいっぺん入れでな。煮干しタシの時もあつたもんだ。うめがったな。」と後藤さんは当時を懐かしむ。

最近では農家といえども昔ながらの道具で餅をつく家はすっかり減少。業者に頼んだり、電動餅つき機でつく家がほとんどだ。餅の館に隣接する「みずほの家」では一週間前に予約すれば、昔ながらの餅つきを体験することができる。(予約は仙北町役場企画課 ☎0187-633000) 「なんばい機械を使っても、ウスとキネでついた餅の味にはかなわねすべ」と後藤さんは言つ、まったく、その通りである。

「餅の館」の管理人・後藤森夫さん(80)だ。餅の館には祭りや祝い事、日常生活などその時々場面をつかえた餅の実物(シリコン処理済み)が説明パネルと一緒に展示されており、その数はざっと四百種類。そのほとんどを作ったのが後藤さんだという。その後藤さんに十月の代表的な餅についてたずねた。

「まあ、みとり餅だべなあ」と言いながら取り出してくれたのは、農作業で使われた大きな箕。その箕の中で稲と鎌を従えてどーんと鎮座しているのが箕取り餅なのだという。

「旧暦の九月二十九日(今年は十月二十四日)

8月号で紹介した盆馬の制作者は、金子セさんでした。おわびして訂正いたします。

私のおすすめ 「秋田の風景」



藍色の地塘が広がる9合目湿原

「田代町 田代岱」

鎌田勇雄さん(秋田市)

古来から五穀豊穡を占う山としてあがめられている田代岳。特に、大小の池塘が広がる9合目湿原の風景は、たくさんの登山者の心をいやしてくれます。

登山仲間と靴納めを兼ねて訪れた晩秋。天空の青さと、藍色の池塘に圧倒され、欣喜雀躍の思いでした。

游学

さんぽみち

ゆとり生活創造センター“游学舎”

秋田市上北手 TEL018(829)5801

県民ギャラリー展「秋田の菊花展」

「秋田菊花同好会」の皆さんが丹精こめて育てた花々を展示します。

日時 11月9日(日)~11月18日(火)

午前9時30分~午後9時30分

入場料 無料

秋田ふるさと村

横手市赤坂 TEL018(33)8800

「イデハのくにの特産品とうまいもの市」

平鹿りんごや新鮮野菜などの農産物、漬け物や郷土料理、民芸品など、“イデハのくに”横手平鹿地域の特産品とうまいもの、各種屋台が大集合します。

日時 11月8日(土)9日(日)

午前9時30分~

午後5時00分

会場 秋田ふるさと村

(入場無料)



特産品が当たる抽選会もあります

「そのままの秋田フォトコンテスト」 作品募集中!

自然、祭り、風物、人々のくらしなど、皆さんが感じた「そのままの秋田」の姿を写真にしてお送りください。

テーマ 自由

募集締切 12月31日(水)

対象作品 平成15年1月1日以降に撮影した作品で、未発表のもの。

賞金 最優秀賞1点)50万円

応募・問い合わせ 県観光連盟 TEL018(860)267



秋の鳥海山

子育て応援情報



子育てに悩んだら、
まず電話で相談を

こども・
家庭110番
県中央児童
相談所

子育てや非行、性格、いじめ、虐待など子どもの心と体に関すること。

電話 012(42)4152(フリーダイヤル)

相談日時 月~土曜日 午前10時~午後8時

日曜日・祝日 午前10時~午後7時

Eメール相談 jisou@pref.akita.jp

すこやか
電話

県総合教育
センター

学習や発達、進路、交友、不登校、いじめなど子どもの教育に関すること。

電話 012(37)804(フリーダイヤル)

相談日時 月~金曜日 午前8時30分~午後5時

スギの子
e-mail
電話相談

県生涯学習センター

育児やしつけ、交友など子どもの家庭教育に関すること。

電話 018(823)303

相談日時 火~土曜日 午前9時30分~午後3時30分

Eメール相談 syogaik@gaea.ocn.ne.jp

クイズ



正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 小・中学生なら誰でも参加できる環境活動を行うクラブはなんでしょう。(P4参照)

(1) リサイクルクラブ

(2) 環境こどもクラブ

(3) こどもエコクラブ

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570 県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締め切りは10月24日(消印有効)ハガキ、ファクス018-860-1072)Eメール(sinjidai@pref.akita.jp)でどうぞ。

8月号の正解は3)国際教養大学でした。応募310通、うち正解305通の中から抽選で次の方々が当選されました。安部菜穂子さん(大館市)工藤一夫さん(合川町)工藤嘉明さん(八森町)佐藤加恵さん(能代市)中村美貴さん(天王町)男鹿谷正子さん、伊藤晶子さん(以上、秋田市)佐林えり子さん(本荘市)築地恭子さん(大曲市)伊藤貴子さん(田沢湖町)

編集部から

ソウル便の就航や国際教養大学の開学など、秋田の国際化は着実に歩みを進めています。米国ミネソタ州との交流も、秋田にとっては貴重な財産。今回の訪問の成果を、これからの一層の交流拡大につなげていきたいものです。

7月から発行したメルマガ「あきた。」ですが、みなさんから大好評で、まずは一安心。内容盛りだくさんのこのメルマガをまだ読んでないという方は、いまずすぐ登録を。これであなたも秋田通!になること請け合いです。

前号に掲載した「早い時期から職業意識」の中の見出し(P9左下)の「インターシッ」は、「インターシッ」の誤りでした。訂正してお詫びします。



県人口 1,167,893人 (-298)

男 552,825人 (-215)

女 615,068人 (-83)

世帯数 396,183世帯(+151)

(平成15年8月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています